

教育目標

自ら考え主体的に学ぶ生徒
明るく思いやりのある生徒
健康でよく働く生徒

学校だより「岩瀬ヶ丘」



第21号

平成29年11月 1日発行

須賀川市立第二中学校

☎75-2910

発行責任者：校長 高崎則行

見せた！一人一人のよさと可能性 感じた！所属感と効力感 「次回作が君たちの最高傑作だ」



すべてのクラスで、
意気込みを黒板にぶつけて本番を待つ

10月20日（金）、「Story—描こう 僕らの1ページ青春」をテーマに校内文化祭を開催し、360名を超える保護者の皆さんにもご覧いただきました。開祭式では、生徒会長の星智徳くんが「文化祭を迎えるまでの日々も含めて僕らの1ページなのです。」と述べました。星くんの思いに応えるかのように、日常の教育活動では見られない、一人一人のよさと可能性が紡ぎ出した素晴らしい学年発表、クラス合

唱、有志・合唱部・吹奏楽部のパフォーマンスが見られました。それらには一体感が感じられて、生徒は、「この学級でよかった」という所属感や、「やればできるんだ」という効力感を十分に感じ取ったのではないかと思います。

また、私は閉祭式の校長あいさつで、嬉しさのあまり「おめえら、すげえなあ」と一部べらんめえ口調になってしまいました。後半、我に返って次のように話をし、生徒に力強く「オウ！」と呼応してもらいました。（これも嬉しかった!!）



学年発表（3年）

映画に音声が無かった時代の有名な喜劇俳優で、映画監督でもあったチャーリー・チャップリンは、「あなたの最高傑作は何ですか？」と尋ねられて、「次回作だ。」と答えたと言います。間もなく文化祭が閉じようとしています。



合唱コンクール（1の2）

今日、文化祭が皆さんの最高傑作になりましたか？（オウ!!）閉祭式が終わったら、この文化祭は過去のものです。1年生、来年の文化祭があなたたちの次回作です。きっと、最高傑作になりますよ。2年生、来年の文化祭をあなたたちの最高傑作にして下さい。3年生、明日から卒業までの皆さんの物語が次回作です。最高傑作にして下さいね。（オウ!!）

教職員には、事前に「本番では、危険や大きな失敗が予想される場面以外では、注意や指導はしないで、生徒に任せて下さい。」とお願いをしました。任せられてしっかりと運営した文化祭実行委員、各発表の進行役の生徒の態度や力量も高く評価したいと思います。

また、閉祭式の中で、生徒会と専門部の引き継ぎが行われ、この日を境に新旧役員が正式に交代しました。



生徒会の引き継ぎ



学年発表（3年）左も



学年発表（2年）右も



17 須賀川市立第二小学校



学年発表（1年）



合唱部



吹奏楽部



有志発表（オタ芸）

合唱コンクール結果

最優秀賞（金賞） 3の5
 優秀賞（金賞） 3の1
 金賞 1の1 1の7
 2の1 2の3
 3の4

奨励賞 1, 2, 3年 9, 10組

指揮者賞 相樂昂希（1の1）
 吉田莉愛（1の6）
 金澤美緒（2の1）
 鈴木智也（3の2）
 新田奈々（3の4）

伴奏者賞 中瀧明真音（1の2）
 本間朱華（1の6）
 佐藤花凜（2の2）
 石橋瑠々子（2の3）
 鴻野 歩（2の7）
 柏原梨花（3の2）
 村田果蓮（3の5）

「最優秀伴奏者賞（さいゆうしゅうばんそうしやしょう）」で、早口言葉で言えますか？



ひと味違うぞ！ 二中生

左の写真は、文化祭前日の体育館での一コマです。ステージ前では、学年発表や有志発表の熱のこもったリハーサルが行われていました。すでに保護者席まで縦も横も整然と整えられていました。しかし、入り口の近くに目を転じてよく見ると、こんなふうにパイプ椅子の間に屈み込んで、細かい修正を行っている生徒がいたのです。3人、4人が一組になって、私の目の届いた範囲では10人に満たない数ですが、お互いに気づいたことを相手に伝えながら作業をしていました。

文化祭は、こうした生徒にも支えられているのだと感じました。保護者の皆さんが座った椅子は、この生徒たちが「まていに」準備した椅子なんです。

【お詫びと訂正】

本紙第20号で、「職場体験でお世話になった事業所を第21号でご紹介する」とお伝えしましたが、文化祭特集になってしまったため、次回に変更いたします。ご了承下さい。

この学校だよりは、本校HPからもご覧いただけます。